平成18年11月24日

# 第1分科会 根室市立昆布盛小学校



## 1. 研究主題

(4)

「自ら進んで表現できる子どもの育成を目指して」 ~発表する活動を通して伝え合う力をつけ、豊 かに表現する力を育む学習~

## 2. 研究内容

研究仮説を「学習の形態や方法を工夫し、評価を 位置づけることによって、伝え合う力をつけ、豊か に表現することができる。」とし、学習時における 「形態」「方法」「評価」の3つの視点について検証 することにした。

## 3. 公開授業

公開授業① 発表集会(集会活動)

「こんぶもりのむかしを伝えよう」とし、「自ら進 んで表現しよう」「表現して伝えよう」という目標 で取り組んだ。どのグループも相手に届くような大 きな声で発表できた。

公開授業② 国語科 (学年別指導)

1年生「はたらくじどう車」

2年生「さけが大きく なるまで」

1年生の課題の「自動車名探偵になろう」という のは、すべてを通した課題。バスの名探偵というこ とでやった。読み取ったことをもとにして話し合っ た。意見の交流をクイズ形式にした。子供たちがど う言い合えるか難しかったが、子供たちなりに頑

2年生は、「どこで、どうする」ということを見 つけながら、二人で話し合っていった。伝え合う部 分では、感想をカードに書かせていた。

3年生「広い言葉、せまい言葉」

4年生「アーチ橋の仕組み」

3年生は、友だちと話し合いをしながら言葉集め をして表をつくった。表作りはリーダーを中心とし てワークシートに取り組んだ。

4年生は、小見出しを見つけようと話し合った。 小見出しのポイントは、短い言葉で作る大切な言葉 と書いていた。最後は、個人個人に作らせたが、足 りないところには教師が付け加えていった。

5年生「森を育てる炭作り」

6年生「人類よ、宇宙人になれ」

5年生はワークシートによる学習を中心に、読み 取った事を書き取った。その後、読み取ったことを もとに、小見出しを作成した。

6年生は、筆者の意見に対して、自分の考えを表 現するというのが課題。読み取ったことから、自分 の考えを発表するということをやった。子供たちな りに筆者の考えをもとに、発表・討論をした。

## 4. 研究協議

研究協議では、授業者からの発表のあと、本校の 研究の過程、国語科との関わり、ワークシートの質、 評価の観点、同時間接指導、コミュニケーションの 力、学習リーダーの役割など、多岐にわたって意見 を交換できた。助言者の早勢裕明氏より(網走教育 局義務教育指導班指導主事)

- ・国語科に関わって、平成17年12月に文科 省から出た「読解力向上に関わる指導資料」で 課題が出ている。小学校では個々の児童の考え をまとめ相互評価が必要。中学校では、文章を 読んで自分の言葉で表現する学習。高校では、 グループ学習を取り入れる必要があると唱えら れている。今日の昆布盛の授業は、3つの必要 があるといった課題を設定している。
- ・1年の授業では、虫めがねをキーワードにうま く 使っている。2年生では3メートルであっ たり、 段ボールであったり、子どもたちが話 し合うためのきっかけとして効果的であった。 さらに言えば、 この単元を通して、ちがう乗 り物の説明を書くた めの読みにするとか、サ ケは図鑑を作るための読 みにするとか、違う 視点からも言語活動を豊かに できる。
- ・3・4年生は、小見出しを言語活動としている 先生の中で早めのという思いがあったら、小見 出しのポイントを最後に確認して、この後の物 語・説明文に小見出しという考え方を使うとい うつめ方もあると思った。
- ・5・6年生は子どもたちが育っている。6年生 は話し合う。5年生は小見出しを手がかりに筆 者の考え方を理解させていった。
- ・同時間接指導を日常に使えるよう取り組んでほ LV.
- ・根拠に基づいた発言ができている。時間がとい